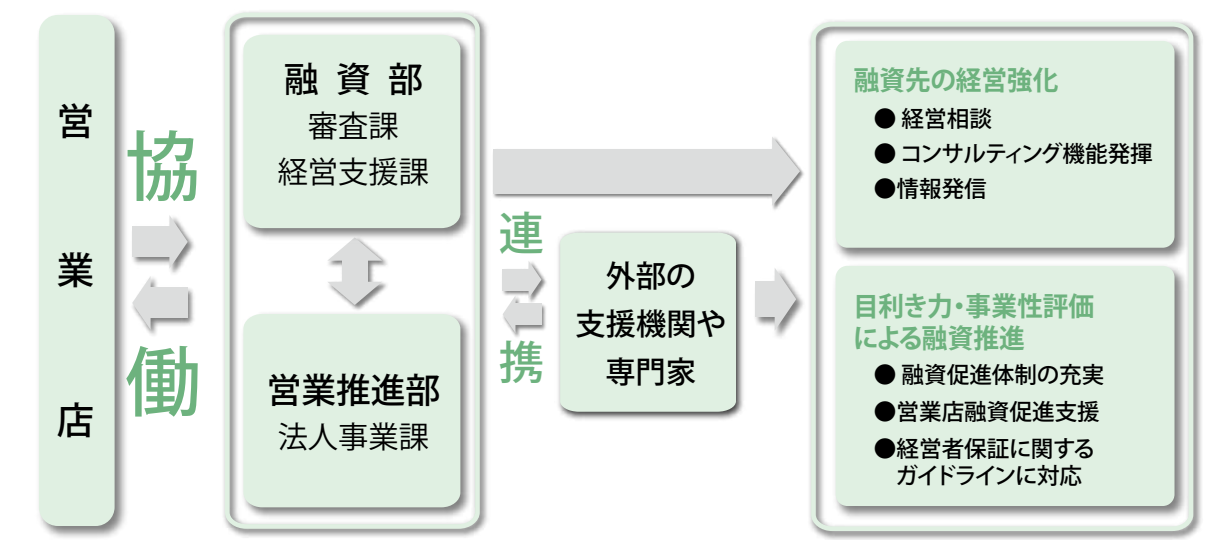


企業の活力を支援する取組み

当金庫では、企業経営のさまざまな課題について中小企業診断士がお客様からの相談内容に応じて、財務改善を中心とした経営診断、経営計画等の策定などのお手伝いをいたします。また商工会・商工会議所、地域経済活性化支援機構や他の金融機関等（政府系金融機関、信用保証協会及び中小企業再生支援協議会等を含む）と協調し、お客様を支援し強固な信頼関係を構築いたします。



経営相談・経営支援

お取引先に専任の中小企業診断士が財務指導や経営相談を行い、事業者様のご要望にお応えしています。

平成 26 年度の取組み状況について《中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み状況》

平成 26 年度は、地域金融機関としての社会的使命を果たすため、次のことを重点施策として中小企業の経営支援、地域経済活性化への貢献に積極的に取組みました。

1. 地域密着型金融の推進（中小企業の経営支援に関する取組み）

お取引先の経営課題を把握・分析した上で、資金供給者の役割のみならず、取引先企業に対するコンサルティング支援を行いました。また、貸出条件の変更等にも柔軟に対応しました。地域経済の活性化や健全な発展のために、創業や新事業、事業再生や経営改善、事業承継などの取引先の課題に対し、資金供給や情報提供・経営相談・改善支援など、事業のライフステージに応じた各段階でのきめ細かい支援に取組みました。

- ①お取引先との信頼関係を深化させ、財務情報や定性情報に基づいた経営課題の把握・共有に努めました。企業のライフステージや事業の持続可能性に応じた相談業務や、継続的なモニタリングを通じて最適なソリューションの提案に努め、お取引先自らが課題を認識し自助努力による課題解決が進むようアドバイスしました。
- ②外部機関と連携した支援としてライフステージ等に応じた最適なソリューションの提案を以下の通り行いました。
 - ・日本政策金融公庫との協調融資
 - ・兵庫県信用保証協会の経営サポート会議・専門家派遣事業
 - ・中小企業庁「ミラサポ」の専門家派遣事業
 - ・経済産業省・外務省による「海外展開一貫支援ファストパス制度」
 - ・中小企業再生支援協議会の再生計画策定、兵庫県改善支援センターの計画策定補助事業
 - ・ひょうご産業活性化センターの「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」、専門家派遣事業、セミナー共同開催など
- ③中小企業の経営支援のための国や地方公共団体の中小企業支援施策を、お取引先の経営支援に活用しました。

●創業・新規事業開拓の支援

- ・事業価値や将来の成長可能性を的確に見極めた資金の供給を推し進めました。
(単位：件 百万円)

	平成 26 年度取扱実績	
	件数	金額
創業・新事業支援融資	25	469

- ＜「成長・育成」につながる新規融資の取組み件数 365 件＞
- ・日本政策金融公庫と創業分野での連携を開始し、併せて「なかしん創業ローン」の取扱いを開始し創業の支援を行いました。

●成長段階における支援

- ・融資審査能力や目利き力の向上等の人材開発に努め、融資審査体制のさらなる強化に努めています。
- ・成長のベースとなる設備資金の支援に積極的に取組むと共に、担保・保証に過度に依存しない融資取組みを推し進めました。
また保証協会の保証制度やＡＢＬ（動産・売掛金担保融資）、でんさい（電子記録債権）割引を活用した融資も行っています。
- ・「個別商談会の開催」や「川上川下ビジネスネットワーク事業」等のビジネスマッチングを推し進め、新たな販路の獲得の支援を行いました。
- ・経済産業省・外務省が推し進める「海外展開一貫支援ファストパス制度」を活用し、海外進出の支援を行いました。

●経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- ・企業と当金庫がともに経営課題を把握・共有した支援に努めました。条件変更による円滑化支援に加え、債務償還能力を重視した計画の策定やモニタリング、また事業承継等の支援を行いました。事業の持続可能性を評価し、経営者の納得性を高めた上で課題を先送りすることない助言に努めました。

●経営支援等の取組み実績（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）

		(単位：先数)					(単位：％)			
	期初債 務者数	うち経営改善支 援取組み先数	αのうち期末に債 務者区分がラン クアップした先数			経営改善支 援取組み率	ラ ン ク ア ッ プ 率	再 生 計 画 策 定 率		
			β	γ	δ					
正常先	①	2,998	5		3	3	0.2		60.0	
要 注 意 先	うちその他要注意先	②	377	28	0	25	21	7.4	0.0	75.0
	うち要管理先	③	35	5	1	4	4	14.3	20.0	80.0
破綻懸念先	④	83	3	0	3	3	3.6	0.0	100.0	
実質破綻先	⑤	83	0	0	0	0	0.0	－	－	
破綻先	⑥	30	0	0	0	0	0.0	－	－	
小計（②～⑥の計）		608	36	1	32	28	5.9	2.8	77.8	
合 計		3,606	41	1	35	31	1.1	2.4	75.6	

※「期初債務者数」は、法人・個人事業主です。
※ランクアップとは、ご融資先の財務や経営状況に応じてランク分けした「債務者区分」が経営の改善により、上位の区分に変更になることをいいます。

＜ 26 年度経営改善支援取組み先数 41 先・内新規支援取組み先数 9 先・内経営改善計画策定先数 7 先＞

- ・再生支援協議会やひょうご産業活性化センターなどの外部機関等を活用し、改善計画の実現可能性を客観的・専門的な評価に努めました。
- ・条件変更を行っている先に対しても、経営改善につながり事業性が認められる案件への新たな信用供与による支援を行いました。
- ・地域経済活性化支援機構を活用し、関西広域中小企業再生ファンドの利用相談や、再生支援に向けた相談を行いました。

●事業承継への支援

- ・事業承継の課題に対しては、ひょうご産業活性化センター等の専門家派遣を活用し丁寧な相談とアドバイスをを行いました。

2. 地域の活性化に関する取組み

①地域の情報や当金庫が蓄積した情報・データを活用し、地域の各種団体等との連携を深め、地域活性化への貢献や利用者の利便性の向上など地域の面的再生に積極的に取り組みました。

● 地域経済団体等との協調

- ・地域商工会議所、商工会等との連携により活性化事業等への積極的な参画・支援に努めました。
- ・兵庫県立大学が主管する「産学公人材イノベーション推進協議会」に加盟し、地域の産業振興と地域活性化に貢献するため、人材育成と連携による組織間の交流を図っています。



産学連携協力協定

● 農商工連携事業を積極的に展開し、ビジネスマッチング機能を発揮

- ・卸小売業に対するマッチングとして第2回個別商談会を開催しました。また、製造業には「川上川下ビジネスネットワーク事業」等を活用し販路拡大支援を行いました。



個別商談会

● 地域の面的再生への積極的な参画

- ・26年8月の丹波地域豪雨災害による中小企業者を支援するため、ひょうご産業活性化センターと連携して「経営相談in丹波」を開催しました。
- ・北近畿地域の改善支援のため「北近畿中小企業支援連絡会議」を設立し、金融機関間での情報交換と連携した支援を行う態勢を整えました。
- ・第16回なかしんふるさと賞「商工業・伝統工芸文化・スポーツ・ボランティア部門」において、地域に貢献され活躍されている10団体を顕彰し地域に紹介しました。



補助金活用チャレンジセミナー

②地域や利用者に対する積極的な情報発信を行いました。

- 「補助金活用チャレンジセミナー」をひょうご産業活性化センターと共同で開催しました。

- NBC（なかしんビジネスクラブ）の運営を通じ、レポート配信、経営セミナーの開催など経営情報の提供を行いました。

- | | | |
|------------|----------------------------------|---------------|
| ◆ 新人若手社員研修 | テーマ：「社会人としての意識改革・行動改革」 | （講師）(株)タナベ経営 |
| ◆ 経営セミナー | テーマ：「人を動かすリーダーシップ」 | （講師）(株)タナベ経営 |
| ◆ 経営セミナー | テーマ：「報道の現場からこれからの日本を考える」 | （講師）杉尾 秀哉氏 |
| ◆ 経営セミナー | テーマ：「知って得する！企業が知っておきたい補助金・助成金とは」 | （講師）インクグロウ(株) |



新人若手社員研修



人を動かすリーダーシップ



報道の現場から
これからの日本を考える



知って得する！企業が知っておきたい補助金・助成金とは

- 地域景気動向調査を定期的（年4回）に実施し、分析結果を情報としてホームページに掲載し還元しました。

- CS（顧客満足度）アンケート調査を行い、意見箱の活用と併せて、より多くの会員や利用者の方々のご意見、ニーズにお応えできるよう適切な対応に努めました。＜CSアンケート無作為抽出郵送先数 2,500 先、内回答数 668 先＞



景況レポート



CS アンケート

「経営者保証に関するガイドライン」への対応について

当金庫は、平成 26 年 2 月 1 日から適用が開始されました「経営者保証に関するガイドライン」（日本商工会議所と全国銀行協会を共同事務局とする「経営者保証に関するガイドライン研究会」が策定）に適切に対応いたします。

当金庫と中小企業の経営者の皆様との間で、新たに保証契約を締結する場合、既存の保証契約の見直しや保証債務の整理をする場合等にこのガイドラインが適用されます。

中小企業者等の金融円滑化に向けた基本方針

中兵庫信用金庫は、相互扶助の理念の下、地域の中小企業者の方や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融機関としての社会的使命を果たしてまいります。

1. 地域の中小企業者の方や個人のお客様の実態把握等を十分行い、必要で安定した資金を円滑に供給していくことが、地域金融機関の最も重要な役割であると考え、積極的な金融仲介機能を発揮していきます。
2. 事業資金や住宅資金を借入されているお客様から、条件変更等について相談や申出があった場合には、その要請を真摯に受け止め、抱えておられる課題解決に向けてきめ細かな対応を行います。
3. 経営相談や経営再建計画の要請等に対しても、十分な話し合いを行い、お客様と一体となって事業等についての改善や再生のための経営支援に取組みます。
4. お客様からの申出について、他業態も含め関係する他の金融機関等がある場合には、他の金融機関等と緊密な連携を図りながら、地域金融の円滑化に努めます。
5. 金融円滑化に関する取組みがより適切で有効に機能するように、組織的な管理体制や職員に対する研修・指導等についても、適宜見直しや改善をはかります。

金融円滑化への取組みについて

中小企業者の方や住宅ローンをご利用のお客様からのご相談に幅広くお応えし、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めています。

1. 金融円滑化管理に関する方針

当庫は、地域の健全な事業を営む中小企業及び個人のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに経営相談・経営指導及び経営改善に関するきめ細かな支援に取組むことは、当庫の最も重要な役割の一つであると認識し、適切なリスク管理体制の下、金融仲介機能を積極的に発揮して行きます。

2. 借入条件の変更等の申込みに対する対応状況を適切に把握するための体制

- ・借入条件の変更等のお申込みに対する対応状況を適切に把握するため体制を整備し、お客様からのご相談・お申込みに積極的に対応しています。

金融円滑化管理体制

- ◇総括責任者…………… 理事長
- ◇管理責任者…………… 融資部担当役員
- ◇営業店責任者…………… 支店長
- ◇営業店相談窓口担当者…… 各支店融資担当役員
- ◇経営支援・苦情相談窓口… 融資部経営支援課担当者

3. 借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うための体制

借入れ条件の変更等に係る苦情・相談を適切に行うため各営業店においては、「金融円滑化ご相談窓口」を設けて「相談窓口担当者」を配置し、本部においては、「経営支援・苦情相談窓口」を開設し、借入れ条件の変更等に係るお客様からの苦情・相談に営業店、関連部署と連携のうえ適切に対応しています。

4. 中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制

中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うために、経営相談や経営指導の専任部署として、融資部内に経営支援課を設置しており、営業店と一体となってお客様の経営の改善や事業再生の支援を行います。